

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成24年3月1日(2012.3.1)

【公開番号】特開2010-169782(P2010-169782A)

【公開日】平成22年8月5日(2010.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2010-031

【出願番号】特願2009-10535(P2009-10535)

【国際特許分類】

G 02 B 26/10 (2006.01)

B 41 J 2/44 (2006.01)

H 04 N 1/113 (2006.01)

【F I】

G 02 B 26/10 F

G 02 B 26/10 B

B 41 J 3/00 D

H 04 N 1/04 104 A

【手続補正書】

【提出日】平成24年1月18日(2012.1.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0121

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0121】

更に光偏向器から被走査面に至る光路で反射ミラーが最も多く配置されている光学箱において、被走査面7aに最も近くに配置される反射ミラー8gを副走査方向に回転することにより光束の被走査面上での副走査方向における照射位置を調整したことである。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0124

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0124】

また光偏向器から被走査面に至る光路で、反射ミラーが最も多く配置されている光学箱9において、被走査面7aに最も近くに配置される反射ミラー8gを副走査方向に回転(図7中矢印A)させている。これにより光束の被走査面上での副走査方向における照射位置を調整している。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0125

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0125】

また光偏向器から被走査面に至る光路で、反射ミラーの数が最も多く配置されている光学箱以外の光学箱9を副走査方向に平行偏心(図7中矢印C1)させることにより光束の被走査面上での副走査方向における照射位置を調整している。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 1 4 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 1 4 5】

また光路中に反射ミラーが最も多く配置されている光路 S 1 以外の光路 S 2 ~ S 4 で発生する感光ドラム面上での走査線の副走査方向の位置変動を、光路 S 1 以外の光路 S 2 ~ S 4 の光学箱 9 を副走査方向に平行偏心（図 7 中矢印 C 1 ）させることにより調整している。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 図面

【補正対象項目名】 図 7

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【図 7】

